

7月13日(月)

私はあなたを信じません

聖書朗読 ルカ 4:10～13

それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損だと思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それをちりあくとと思っています。ピリピ 3:8

私の娘が、中学1年生の初めての週の社会科の授業で、家族で訪れたことがある遠方の場所について述べました。しかし、先生はそれを信じず、あざ笑ったのです。娘はとても傷ついて帰宅しました。誰かがあなたを信じないことはあなたを傷つけます。

イエス様は同じ経験をされているので、この気持ちを分かって下さい。福音伝道をされている時、イエス様の力、目的、起源を信じない人々は沢山いました。『兄弟たちもイエスを信じていなかったからである。』（ヨハネ7:5）。サタンを通して、3通りの方法でイエス様は試されました。結局、イエス様は奇跡を起こすことが出来、本物の王であり、神の御子であることが証明されました。

これらの疑惑を払拭することは、どれだけ大変だったでしょう！ イエス様は確かに石をパンに変えられ、王国を統治され、天使に付き添われていました。

私たちが疑惑や誘惑に惑わされないようにしましょう。私たちが疑う人や見くびる人が居て、傷ついても、その想いは置いておきましょう。神と共にいることを強く意識しましょう。

聖歌 295

祈り 天におられます父よ。あなたを知ることからくる平安と自信をお与え下さい。誘惑に惑わされないよう助けて下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ジョッシュ・ボイド

インディアナ州 ラフィーエット

今日の力

2015年7月13日～7月19日

翻訳 伊藤若菜

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月14日(火)

今日という日

聖書朗読 ルカ 4:16~30

イエスは人々にこう言って話し始められた。「きょう、聖書のこのみことばが、あなたがたか聞いたとおりに実現しました。
ルカ 4:21

イエス様の最初の世間に対する言葉は「いつか」ではなく「今日」でした。イエス様は私たちに御国が来る日は将来いつか来るものではなく、今日来るかもしれないものだとして知って欲しかったのです。

神の素晴らしい働きを経験するのに、私たちはこの地上での命を終えるまで待つ必要はないのです。それはもう既に今日、始まっているのです。この世に希望を持つのに、次の選挙の時期まで待つ必要はないのです。

私たちが完成形を見ることはないかもしれませんが、神は私たちに既に始まっていることを知って欲しいと思っておられます。十分に感じることはないかもしれませんが、しかし、神の御心にあうように、そして私たちが夢見ているような素晴らしい未来は、未来ではなく、この今日と言う日に起こっているのです。

クリスチャンの信仰は非現実的な夢物語ではありません。それは、今日という日もキリストと共にいるからです。

讃美歌 90

祈り 父よ。あなたの存在を身近に感じさせて下さい。あなたの御業を明日・来週・来年ではなく、今日見られるよう助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

クリス・アルトロック
テネシー州 メンフィス

7月15日(水)

ただやってみる

聖書朗読 ルカ 10:25~37

雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家を打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。
マタイ 7:25

本日の聖書朗読の箇所では律法の専門家がイエス様を試そうとしました。きっと彼は自分の知識に自信があったのでしょう。イエス様は専門家の答えが正しいことを認めると共に「それを実行しなさい。そうすれば、いのちを得ます」と答えています。

そこで、この専門家は「私の隣人はだれのことですか?」と尋ね、イエス様は良いサマリア人の話をされました。当時、ユダヤ人はサマリア人を厳しく避けていました。道に倒れていた人は田舎の人でした。しかし、祭司もレビ人も彼を助けて旅路が邪魔されるのを避けて、見過ごしたのです。しかし、旅人が司祭やレビ人にないがしろにされていたにも関わらず、サマリア人は、彼を助けるために時間とお金を割きました。

イエス様が律法の専門家に誰がこのけが人にとっての隣人か聞いたところ、彼は正しい答えを答えました。つまり隣人とは、誰か助けを必要としている人がいたら、その人が誰であろうとも助ける人のことです。ですから、イエス様はこの法律の専門家に「同じようにしなさい!」と言われました。

讃美歌 121

祈り 父よ。私たちの生活の中で出会う、トラブルを抱えた人々を助けられるよう導いて下さい。良きサマリア人のようになれますように。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ベッキン・シュバルツ
ドイツ ミュンヘン

7月16日(木)

愚か者は誰？

聖書朗読 ルカ 12:13~21

そして人々に言われた。「どんな食欲にも注意して、よく警戒しなさい。なぜなら、いくら豊かな人でも、その人のいのちは財産にあるのではないからです。

ルカ 12:15

古代の格言によると、愚か者は6つの特徴がある人々のことを指していました。原因なく怒る者、利益のないスピーチをする者、進行なく変更をする者、目的のない調査をする者、他人を信じる者、そして誤って友達を敵と認識する者です。

聖書の定義する愚かな態度は2つです。神の存在を否定する者、そして貪欲な思いに支配される者です。

これらの性質は昔ベストセラーになった”*Looking Out for Number One*”と言う本を思い出させます。その本はただ単に、貪欲な人生の哲学の焼き直しでした。そのような課題は以前からあるものでした。どれだけ多くの所有物を持つかによって、私たちの富が決まると思っていないのでしょうか？

私たちの価値は私たちがどんな人間かであり、何を持っているかで決まる訳ではありません。それを信じるならば、私たちの人生はもっとシンプルで、喜びに溢れ、そして一番大切なのは神に喜んで頂く生き方になるのではないのでしょうか。

良いニュースは神が私たち一人ひとりに価値があると知っておられることです。

讃美歌 第二編 195

祈り 父よ。この世の考えに流されないよう助けて下さい。あなたの知恵と意志で満たして下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジム・ラビネル

テキサス州 アビリン

7月17日(金)

自分で気がつくこと

聖書朗読 ルカ 15:1~10

すると、パリサイ人、律法学者たちは、つぶやいてこう言った。「この人は、罪人たちを受け入れて、食事までいっしょにする。」 ルカ 15:2

はい、確かにイエス様はそうされました。だから主は来られたのです。これらのことを聴衆は理解出来ませんでした。このことを説明するためにイエス様は例え話を使われました。なくした羊、銀貨、放蕩息子のたとえです。これらの話を聞いた時のパリサイ人、律法学者の表情を見て見たいと思いませんか？ しかし、これはマタイ9章から推測することが出来ます。イエス様と弟子たちが罪人たちと一緒に食事をされていた時、いろいろなことが起こりました。

『イエスはこれを聞いて言われました。「医者が必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。』」(マタイ9:12)

イエス様は罪びとたちが癒しを必要としている人々であることを教えられたのです。医者が必要な人々は自分達が病気であることに気が付いていなかったのです。イエス様は間違った考えを教えた宗教のリーダー達を非難しました。彼らは傲慢で、人を見下していたのです。そして、救い主は必要でないと考えていました。

道なしに、歩みなし。

真理なしに、知識なし。

いのちなしに、生きることなし。

—— トマス・ア・ケンピス

讃美歌 508

祈り どうぞ御心のまま成長できるように助けて下さい。あなたの重要さに今一度気づかせて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ボブ・メイズ

テキサス州 ラボック

7月18日(土)

彼は約束を守ります

聖書朗読 ルカ 24:1~12

また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

マタイ 28:20

エルサレムでガーデン・トゥムへ行った時、私たちは中へ入る順番を静かに待っていました。内側には誰かが待っていてルカ 24:6 を用いて「ここにはおられません。よみがえられたのです」と挨拶されました。

主は墓の中には居ません。なぜなら生きているからです。

主は今も私達と共に居て下さるのです。約束されたように、私達をサポートして下さっているのです。私達が人生の喜びを感じている時、主もその様子を見て微笑ましく思っていて下さるのです。主は私たちのすぐ傍にいて、困難なる時も正しく対応できるよう助けて下さっているのです。主の存在は精神的に辛い時でも、私達に安心を与え、励まして下さるのです。

名誉なる事実ですが、私たち一人ひとりの中にイエス様は住んでおられるのです。

毎時間あなたの存在が必要

あなたの優雅さがくじくのはなにか、誘惑者の力か、

だれが導き手になれるのか、あなた以外

雲と光を通し、主よ、われととどまれ

—————ヘンリー・フランシス・ライト

讃美歌 第二編 190

祈り 父よ。今日もお恵みをお与え下さい。御心に従い、生きていけるようお助け下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

アン・ヤング

テキサス州 アビリン

7月19日(日)

もしも？

聖書朗読 ヨハネ 6:8~15

イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことはありません。

ヨハネ 6:35

もし男の子がお弁当を持って来なかったら？ 私たちは神の奇跡の食料供給を信じる前につい「もしも」と考えてしまいます。男の子が彼の小さいお弁当を持ってきたので、イエス様は大勢の空腹の人々を満たすことが出来ました。

最近、私の娘がチャレンジしていることをシェアしてくれました。彼女は将来について「もしも」と考えることはあまりなかったようです。私たちは今日を乗り越える平安と強さを与えられています。明日必要なものは、また明日与えられるのです！

神が、毎日マナを与えて下さったことを覚えていますか？ 今も同じです。今日の分は、その当日に与えられ、明日や未来のために貯めることは出来ないのです。必要な分はその日に与えられる。何と有り難いことでしょう。

日々の生活の中で「もしも」と考え心配してしまうこともあるでしょう。しかし、必要な分は与えられることを覚えて過ごしましょう。

讃美歌 525

祈り 父よ。日々の糧を与えて下さりありがとうございます。あなたが十分な物を与えて下さることを忘れ、つい心配してしまうことをお許し下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

スーザン・ジボニー

カリフォルニア州 マリブ